

（下線の部分は改正部分）

改 正 後	改 正 前																
土木工事共通仕様書 目 次 第 1 編 共通編 第 1 章 総則 第 1 節 [略] 1－1－1 ～ 1－1－51 [略] <u>1－1－52 週休二日の対応</u> <u>1－1－53 石綿使用の有無</u> 第 2 章 ～ 第 20 章 [略] 工事請負契約、土木工事共通仕様書等に基づく提出様式 [略] 参考 土木工事共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表 [略] 建設副産物適正処理推進要綱の改正について [略] 建設工事の発注における再生資源の利用の促進について [略] 建設工事公衆災害防止対策要綱の制定等について [略] 土地改良事業における工事の安全対策について [略] 第 1 編 共通編 第 1 章 総 則 第 1 節 総 則 1－1－1 ～ 1－1－4 [略] 1－1－5 施工計画書 1 受注者は、工事着手前又は施工方法が確定した時期に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。 受注者は、施工計画書を遵守し、工事の施工に当たらなければならない。この場合、受注者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、簡易な工事においては、監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。 <table><tr><td>(1) 工事概要</td><td>(8) 緊急時の体制及び対応</td></tr><tr><td>(2) 計画工程表</td><td>(9) 交通管理</td></tr><tr><td>(3) 現場組織表</td><td>(10) 安全管理</td></tr><tr><td>(4) 主要機械</td><td>(11) 仮設備計画</td></tr></table>	(1) 工事概要	(8) 緊急時の体制及び対応	(2) 計画工程表	(9) 交通管理	(3) 現場組織表	(10) 安全管理	(4) 主要機械	(11) 仮設備計画	土木工事共通仕様書 目 次 第 1 編 共通編 第 1 章 総則 第 1 節 [略] 1－1－1 ～ 1－1－51 [略] [新設] [新設] 第 2 章 ～ 第 20 章 [略] 工事請負契約、土木工事共通仕様書等に基づく提出様式 [略] 参考 土木工事共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表 [略] 建設副産物適正処理推進要綱の改正について [略] 建設工事の発注における再生資源の利用の促進について [略] 建設工事公衆災害防止対策要綱の制定等について [略] 土地改良事業における工事の安全対策について [略] 第 1 編 共通編 第 1 章 総 則 第 1 節 総 則 1－1－1 ～ 1－1－4 [略] 1－1－5 施工計画書 1 受注者は、工事着手前又は施工方法が確定した時期に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。 受注者は、施工計画書を遵守し、工事の施工に当たらなければならない。この場合、受注者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、簡易な工事においては、監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。 <table><tr><td>(1) 工事概要</td><td>(8) 緊急時の体制及び対応</td></tr><tr><td>(2) 計画工程表</td><td>(9) 交通管理</td></tr><tr><td>(3) 現場組織表</td><td>(10) 安全管理</td></tr><tr><td>(4) 主要機械</td><td>(11) 仮設備計画</td></tr></table>	(1) 工事概要	(8) 緊急時の体制及び対応	(2) 計画工程表	(9) 交通管理	(3) 現場組織表	(10) 安全管理	(4) 主要機械	(11) 仮設備計画
(1) 工事概要	(8) 緊急時の体制及び対応																
(2) 計画工程表	(9) 交通管理																
(3) 現場組織表	(10) 安全管理																
(4) 主要機械	(11) 仮設備計画																
(1) 工事概要	(8) 緊急時の体制及び対応																
(2) 計画工程表	(9) 交通管理																
(3) 現場組織表	(10) 安全管理																
(4) 主要機械	(11) 仮設備計画																

改 正 後	改 正 前
3 検査職員は、監督職員及び受注者の立会により、工事目的物を対象として契約図書と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。 (1) ～ (2) [略] <u>(3) 週休二日の履行状況</u> 4・5 [略] 1－1－29 既済部分検査 1・2 [略] <u>3 検査職員は、監督職員及び受注者の立会により、工事目的物を対象として契約図書と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</u> <u>(1) 工事の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえの検査を行う。</u> <u>(2) 工事管理状況について、書類、記録及び写真等を参考にして検査を行う。</u> <u>(3) 週休二日の履行状況</u> <u>4・5 [略]</u> 1－1－30 ～ 1－1－33 [略] 1－1－34 工事中の安全管理 1 ～ 8 [略] 9 受注者は、公衆の見えやすいところに工事目的、工事期間、工事種別、発注者名、施工者名及び連絡先を標示する標示板を設置しなければならない。 <u>なお、標示板については、本章 1－1－39 環境対策 4 (3) に示す合法伐採木材等を使用すること。ただし、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。</u> 10 ～ 19 [略] 1－1－35 ～ 1－1－38 [略] 1－1－39 環境対策 1 ～ 3 [略] 4 資材（材料及び機材を含む。）、工法、建設機械及び目的物 (1) ・ (2) [略] <u>(3) 受注者は、木材の使用について「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 48 号。以下「クリーンウッド法」という。）」に基づき、我が国又は原産国の法令に適合して伐採された樹木を材料とする合法性が証明された木材（以下「合法伐採木材等」という。）を使用するものとする。</u> <u>(4) [略]</u> 5・6 [略] <u>7 受注者は省エネルギーの観点から、現場事務所や工事車両・機械などの電気、燃油の使用量の削減を積極的に推進するものとする。</u> 1－1－40 [略] 1－1－41 交通安全管理 1 ～ 4 [略] 5 受注者は、指定された工事用道路の使用開始前に当該道路の新設、改良維持管理、補修及び使用方法等の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。この場合において、受注者は、関係機関に所要の手続きをとるものとし、発注者が特に指示する場合を除き、場所等の案内標	3 検査職員は、監督職員及び受注者の立会により、工事目的物を対象として契約図書と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。 (1) ～ (2) [略] [新設] 4・5 [略] 1－1－29 既済部分検査 1・2 [略] [新設] 3・4 [略] 1－1－30 ～ 1－1－33 [略] 1－1－34 工事中の安全管理 1 ～ 8 [略] 9 受注者は、公衆の見やすいところに工事内容、工事期間、工事種別、発注者名、受注者名及び連絡先を標示する標示板を設置しなければならない。 10 ～ 19 [略] 1－1－35 ～ 1－1－38 [略] 1－1－39 環境対策 1 ～ 3 [略] 4 資材（材料及び機材を含む。）、工法、建設機械及び目的物 (1) ・ (2) [略] [新設] (3) [略] 5・6 [略] [新設] 1－1－40 [略] 1－1－41 交通安全管理 1 ～ 4 [略] 5 受注者は、指定された工事用道路の使用開始前に当該道路の新設、改良維持管理、補修及び使用方法等の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。この場合において、受注者は、関係機関に所要の手続きをとるものとし、発注者が特に指示する場合を除き、標識の設置、その他の必要な措置を行わなければならない。

改 正 後	改 正 前
<u>識、工事中の標識等の設置、その他の必要な措置を行わなければならない。</u> <u>なお、標識については、合法伐採木材等を使用すること。ただし、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。</u> 6 ～ 9 [略] 10 受注者は、建設機械、資材等の運搬に当たり、車両制限令（昭和 36 年政令第 265 号）第 3 条における一般的制限値を超える車両を通行させる場合、道路法第 47 条の 2 に基づく通行許可<u>または道路法第 47 条の 10 に基づく通行可能経路の回答</u>を得ていることを確認しなければならない。 また、道路交通法施行令（昭和 35 年政令第 270 号）第 22 条における制限を超えて建設機械、資材等を積載して運搬するときは、道路交通法第 57 条に基づく許可を得ていることを確認しなければならない。 表 1-1-3 車両の一般的制限値 [略] ここでいう車両とは、人が乗車し、又は貨物が積載されている場合にはその状態におけるものをいい、他の車両をけん引している場合にはこのけん引されている車両を含む。 1-1-42 諸法令、諸法規の遵守 受注者は、工事の実施に当たっては、当該工事に関連する法令を遵守するものとし、受注者の法令違反又は法令の不遵守により生じた損害その他の事項に対する一切の責任は受注者が負うものとする。 なお、工事の実施に関連すると考えられる主な法令は、次の掲げる法律及びこれらに関連する法令である。 (1) ～ (71) 略 <u>(72) 環境と調和のとれた食料システムの確立のための（令和 4 年法律第 37 号）環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律</u> 1-1-43 ～ 1-1-51 [略] 1-1-52 週休二日の対応 <u>受注者は、週休二日に取り組み、その実施内容を監督職員に報告しなければならない。</u> <u>なお、週休二日は、月単位で 4 週 8 休以上の現場閉所または、技術者及び技能労働者が交代しながら 4 週 8 休以上の休日を確保し実施に努めなければならない。</u> 1-1-53 石綿使用の有無 <u>受注者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際、石綿（アスベスト）の使用の有無の「事前調査」を行わなければならない。</u> <u>石綿障害予防規則に基づく一定規模以上の工事にあつては「事前調査結果の報告」を所轄労働基準監督署に届出を行わなければならない。また、大気汚染防止法に基づき、特定粉じん発生施設を設置しようとするときは、都道府県知事に届出を行わなければならない。</u> 第 2 章 材料 [略] 第 3 章 施工共通事項 第 1・2 節 [略]	6 ～ 9 [略] 10 受注者は、建設機械、資材等の運搬に当たり、車両制限令（昭和 36 年政令第 265 号）第 3 条における一般的制限値を超える車両を通行させる場合、道路法第 47 条の 2 に基づく通行許可を得ていることを確認しなければならない。 また、道路交通法施行令（昭和 35 年政令第 270 号）第 22 条における制限を超えて建設機械、資材等を積載して運搬するときは、道路交通法第 57 条に基づく許可を得ていることを確認しなければならない。 表 1-1-3 車両の一般的制限値 [略] ここでいう車両とは、人が乗車し、又は貨物が積載されている場合にはその状態におけるものをいい、他の車両をけん引している場合にはこのけん引されている車両を含む。 1-1-42 諸法令、諸法規の遵守 受注者は、工事の実施に当たっては、当該工事に関連する法令を遵守するものとし、受注者の法令違反又は法令の不遵守により生じた損害その他の事項に対する一切の責任は受注者が負うものとする。 なお、工事の実施に関連すると考えられる主な法令は、次の掲げる法律及びこれらに関連する法令である。 (1) ～ (71) 略 [新設] 1-1-43 ～ 1-1-51 [略] [新設] [新設] 第 2 章 材料 [略] 第 3 章 施工共通事項 第 1・2 節 [略] 第 3 節 土工

改正後	改正前
第3節 土工 3-3-1 [略] 3-3-2 掘削工 1 一般事項 (1) ～ (4) [略] (5) 掘削中及び掘削土を運搬する場合には、沿道住民及び道路利用者に迷惑がかからないように努めなければならない。 2・3 [略] 3-3-3 ～ 3-3-8 [略] 第4 ～ 第21節 [略] 第2編 工事別編 [略] 工事請負契約、土木工事等共通仕様書等に基づく提出様式 [略] 工事関係書類一覧表の整理 [略] (様式1-1) ～ (様式4) [略]	3-3-1 [略] 3-3-2 掘削工 1 一般事項 (1) ～ (4) [略] (5) 掘削中及び掘削土を運搬する場合には、沿道住民に迷惑がかからないように努めなければならない。 2・3 [略] 3-3-3 ～ 3-3-8 [略] 第4 ～ 第21節 [略] 第2編 工事別編 [略] 工事請負契約、土木工事等共通仕様書等に基づく提出様式 [略] 工事関係書類一覧表の整理 [略] (様式1-1) ～ (様式4) [略]

改正後	改正前																																														
(様式 5 - 1) 請求書 (前払金) 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 【登録番号】 ¥ 年 月 日契約締結した 工事請負代金 の前払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約書第 3 5 条第 1 項の規定に基づ き上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="3">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td>10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)</td></tr><tr><td>請負代金額に対する /10 の金額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>// 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 2 <u>上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の 場合、記載を省略することができる。</u> 3 <u>該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。</u>	内 訳			項 目	金 額	摘 要	請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)	請負代金額に対する /10 の金額			今 回 請 求 金 額			振込先銀行名		// 口座名義		// 口 座 名		// 口座番号		(様式 5 - 1) 請求書 (前払金) 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 [新設] ¥ 年 月 日契約締結した 工事請負代金 の前払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約書第 3 5 条第 1 項の規定に基づ き上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="3">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td></td></tr><tr><td>請負代金額に対する /10 の金額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>// 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 [新設] [新設]	内 訳			項 目	金 額		請 負 代 金 額	円		請負代金額に対する /10 の金額			今 回 請 求 金 額			振込先銀行名		// 口座名義		// 口 座 名		// 口座番号	
内 訳																																															
項 目	金 額	摘 要																																													
請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)																																													
請負代金額に対する /10 の金額																																															
今 回 請 求 金 額																																															
振込先銀行名																																															
// 口座名義																																															
// 口 座 名																																															
// 口座番号																																															
内 訳																																															
項 目	金 額																																														
請 負 代 金 額	円																																														
請負代金額に対する /10 の金額																																															
今 回 請 求 金 額																																															
振込先銀行名																																															
// 口座名義																																															
// 口 座 名																																															
// 口座番号																																															

改 正 後	改 正 前																																												
(様式 5 - 2) 請求書（前払金・国庫債務負担行為用） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 【登録番号】 ¥ 年 月 日契約締結した 工事の 年度 出来形予定部分に係る請負代金の前払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約 書第 4 1 条第 1 項の規定に基づき上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>金 額</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円 10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)</td></tr><tr><td>年度出 来 形 予 定 金 額</td><td></td></tr><tr><td>年度支 払 年 割 額</td><td></td></tr><tr><td>年度出来形予定金額に対す る /10 の金額</td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>// 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 2 上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の 場合、記載を省略することができる。 3 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。	内 訳		項 目	金 額	請 負 代 金 額	円 10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)	年度出 来 形 予 定 金 額		年度支 払 年 割 額		年度出来形予定金額に対す る /10 の金額		今 回 請 求 金 額		振込先銀行名		// 口座名義		// 口 座 名		// 口座番号		(様式 5 - 2) 請求書（前払金・国庫債務負担行為用） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 [新設] ¥ 年 月 日契約締結した 工事の 年度 出来形予定部分に係る請負代金の前払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約 書第 4 1 条第 1 項の規定に基づき上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>金 額</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td></tr><tr><td>年度出 来 形 予 定 金 額</td><td></td></tr><tr><td>年度支 払 年 割 額</td><td></td></tr><tr><td>年度出来形予定金額に対す る /10 の金額</td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>// 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>// 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 [新設] [新設]	内 訳		項 目	金 額	請 負 代 金 額	円	年度出 来 形 予 定 金 額		年度支 払 年 割 額		年度出来形予定金額に対す る /10 の金額		今 回 請 求 金 額		振込先銀行名		// 口座名義		// 口 座 名		// 口座番号	
内 訳																																													
項 目	金 額																																												
請 負 代 金 額	円 10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)																																												
年度出 来 形 予 定 金 額																																													
年度支 払 年 割 額																																													
年度出来形予定金額に対す る /10 の金額																																													
今 回 請 求 金 額																																													
振込先銀行名																																													
// 口座名義																																													
// 口 座 名																																													
// 口座番号																																													
内 訳																																													
項 目	金 額																																												
請 負 代 金 額	円																																												
年度出 来 形 予 定 金 額																																													
年度支 払 年 割 額																																													
年度出来形予定金額に対す る /10 の金額																																													
今 回 請 求 金 額																																													
振込先銀行名																																													
// 口座名義																																													
// 口 座 名																																													
// 口座番号																																													

改正後		改正前																																																					
(様式6－1) ～ (様式16) [略] (様式17－1) 請求書 (中間前払金) 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住所 会社名等 氏 名 【登録番号】 ¥ 年 月 日契約締結した 工事請負代金の中間 前払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約書第35条第4項の規定に基づ き上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="3">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td>10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)</td></tr><tr><td>前 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>請負代金額に対する2／10の金額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 2 上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の 場合、記載を省略することができる。 3 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。		内 訳			項 目	金 額	摘 要	請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)	前 払 金 受 領 済 額			請負代金額に対する2／10の金額			今 回 請 求 金 額			振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号		(様式6－1) ～ (様式16) [略] (様式17－1) 請求書 (中間前払金) 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住所 会社名等 氏 名 [新設] ¥ 年 月 日契約締結した 工事請負代金の中間 前払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約書第35条第4項の規定に基づ き上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="3">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td></td></tr><tr><td>前 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>請負代金額に対する2／10の金額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 [新設] [新設]		内 訳			項 目	金 額		請 負 代 金 額	円		前 払 金 受 領 済 額			請負代金額に対する2／10の金額			今 回 請 求 金 額			振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号	
内 訳																																																							
項 目	金 額	摘 要																																																					
請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)																																																					
前 払 金 受 領 済 額																																																							
請負代金額に対する2／10の金額																																																							
今 回 請 求 金 額																																																							
振込先銀行名																																																							
〃 口座名義																																																							
〃 口 座 名																																																							
〃 口座番号																																																							
内 訳																																																							
項 目	金 額																																																						
請 負 代 金 額	円																																																						
前 払 金 受 領 済 額																																																							
請負代金額に対する2／10の金額																																																							
今 回 請 求 金 額																																																							
振込先銀行名																																																							
〃 口座名義																																																							
〃 口 座 名																																																							
〃 口座番号																																																							

改 正 後	改 正 前																																																				
(様式 1 7 - 2) 請求書（中間前払金・国庫債務負担行為用） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 【登録番号】 ¥ 年 月 日契約締結した 工事の 年度 出来形予定部分に係る請負代金の中間前払金額（下記内訳のとおり）を工事請 負契約書第 3 5 条第 4 項の規定に基づき上記のとおり請求します。 内 訳 <table><thead><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td>10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)</td></tr><tr><td>年度出 来 形 予 定 金 額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>年度支 払 年 割 額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>年度出来形予定金額に対す る 2 / 10 の金額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 2 上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の 場合、記載を省略することができる。 3 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。	項 目	金 額	摘 要	請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)	年度出 来 形 予 定 金 額			年度支 払 年 割 額			年度出来形予定金額に対す る 2 / 10 の金額			今 回 請 求 金 額			振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号		(様式 1 7 - 2) 請求書（中間前払金・国庫債務負担行為用） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 [新設] ¥ 年 月 日契約締結した 工事の 年度 出来形予定部分に係る請負代金の中間前払金額（下記内訳のとおり）を工事請 負契約書第 3 5 条第 4 項の規定に基づき上記のとおり請求します。 内 訳 <table><thead><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td></td></tr><tr><td>年度出 来 形 予 定 金 額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>年度支 払 年 割 額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>年度出来形予定金額に対す る 2 / 10 の金額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 保証証書を添付すること。 [新設] [新設]	項 目	金 額		請 負 代 金 額	円		年度出 来 形 予 定 金 額			年度支 払 年 割 額			年度出来形予定金額に対す る 2 / 10 の金額			今 回 請 求 金 額			振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号	
項 目	金 額	摘 要																																																			
請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)																																																			
年度出 来 形 予 定 金 額																																																					
年度支 払 年 割 額																																																					
年度出来形予定金額に対す る 2 / 10 の金額																																																					
今 回 請 求 金 額																																																					
振込先銀行名																																																					
〃 口座名義																																																					
〃 口 座 名																																																					
〃 口座番号																																																					
項 目	金 額																																																				
請 負 代 金 額	円																																																				
年度出 来 形 予 定 金 額																																																					
年度支 払 年 割 額																																																					
年度出来形予定金額に対す る 2 / 10 の金額																																																					
今 回 請 求 金 額																																																					
振込先銀行名																																																					
〃 口座名義																																																					
〃 口 座 名																																																					
〃 口座番号																																																					

改正後

(様式18) ~ (様式19) [略]

(様式20)

請求書 (指定部分支払)

年 月 日

(支出官等)
(官職氏名) 殿

受注者 住 所
会社名等
氏 名
【登録番号】

¥ _____

年 月 日契約締結した 工事の指定部分に相応する請負代金額 (下記内訳のとおり) を工事請負契約書第39条の規定に基づき上記のとおり請求します。

内 訳			
項 目	割 合	金 額	適 用
請 負 代 金 額	%	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)
指定部分の請求金額相当額及び請負金額に対する割合			
指 定 部 分 の 出 来 高 割 合	100		
既に受領した前払金及び請負金額に対する割合			
同上金額の指定部分割合の金額			
既に受領した部分払金額及び請負金額に対する割合			
同上金額の指定部分相当金額			
今回受領する指定部分金額			
請 負 金 額 支 払 残 額			

振込先銀行名

〃 口座名義

〃 口 座 名

〃 口座番号

(注) 1 上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の場合、記載を省略することができる。

2 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。

改正前

(様式18) ~ (様式19) [略]

(様式20)

請求書 (指定部分支払)

年 月 日

(支出官等)
(官職氏名) 殿

受注者 住 所
会社名等
氏 名
【新設】

¥ _____

年 月 日契約締結した 工事の指定部分に相応する請負代金額 (下記内訳のとおり) を工事請負契約書第39条の規定に基づき上記のとおり請求します。

内 訳			
項 目	割 合	金 額	適 用
請 負 代 金 額	%	円	_____
指定部分の請求金額相当額及び請負金額に対する割合			
指 定 部 分 の 出 来 高 割 合	100		
既に受領した前払金及び請負金額に対する割合			
同上金額の指定部分割合の金額			
既に受領した部分払金額及び請負金額に対する割合			
同上金額の指定部分相当金額			
今回受領する指定部分金額			
請 負 金 額 支 払 残 額			

振込先銀行名

〃 口座名義

〃 口 座 名

〃 口座番号

【新設】

【新設】

- 10 -

改正後		改正前																																																																																																	
(様式2 1) ～ (様式2 2) [略] (様式2 3-1) 請求書（第 回部分払金） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 【登録番号】 ¥ 年 月 日 契約締結した 工事請負代金の第 回 部分払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約第3 8条第1項の規定に基づき 上記のとおり請求します。 内 訳<table><thead><tr><th>項 目</th><th>割 合</th><th>金 額</th><th>適 用</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>%</td><td>円</td><td>10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)</td></tr><tr><td>前 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>部 分 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>出 来 形 部 分 の 割 合 、 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>前回までの出来形部分の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>出来形部分に対する 9/10 の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今回出来形部分の部分払金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1. 今回出来形部分払金額の算出は、下記により行い摘要欄に計算式を 記入するものとする。 今回出来形部分の部分払金額＝今回の出来形部分の金額×（9／10 － <u>前払金受領済額</u> 請負代金額）－ 部分払金受領済額 <u>2 上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の場合、記載 を省略することができる。</u> <u>3</u> 該当のある欄のみ記載し、不要な事項は抹消して使用すること。		項 目	割 合	金 額	適 用	請 負 代 金 額	%	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)	前 払 金 受 領 済 額				部 分 払 金 受 領 済 額				出 来 形 部 分 の 割 合 、 金 額				前回までの出来形部分の金額				今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額				出来形部分に対する 9/10 の金額				今回出来形部分の部分払金額				今 回 請 求 金 額				振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号		(様式2 1) ～ (様式2 2) [略] (様式2 3-1) 請求書（第 回部分払金） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 【新設】 ¥ 年 月 日 契約締結した 工事請負代金の第 回 部分払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約第3 8条第1項の規定に基づき 上記のとおり請求します。 内 訳<table><thead><tr><th>項 目</th><th>割 合</th><th>金 額</th><th>適 用</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>%</td><td>円</td><td>――</td></tr><tr><td>前 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>部 分 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>出 来 形 部 分 の 割 合 、 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>前回までの出来形部分の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>出来形部分に対する 9/10 の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今回出来形部分の部分払金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 1 今回出来形部分払金額の算出は、下記により行い摘要欄に計算式を 記入するものとする。 今回出来形部分の部分払金額＝今回の出来形部分の金額×（9／10 － <u>前払金受領済額</u> 請負代金額）－ 部分払金受領済額 【新設】 <u>2</u> 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項はまっ消して使用すること。		項 目	割 合	金 額	適 用	請 負 代 金 額	%	円	――	前 払 金 受 領 済 額				部 分 払 金 受 領 済 額				出 来 形 部 分 の 割 合 、 金 額				前回までの出来形部分の金額				今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額				出来形部分に対する 9/10 の金額				今回出来形部分の部分払金額				今 回 請 求 金 額				振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号	
項 目	割 合	金 額	適 用																																																																																																
請 負 代 金 額	%	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)																																																																																																
前 払 金 受 領 済 額																																																																																																			
部 分 払 金 受 領 済 額																																																																																																			
出 来 形 部 分 の 割 合 、 金 額																																																																																																			
前回までの出来形部分の金額																																																																																																			
今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額																																																																																																			
出来形部分に対する 9/10 の金額																																																																																																			
今回出来形部分の部分払金額																																																																																																			
今 回 請 求 金 額																																																																																																			
振込先銀行名																																																																																																			
〃 口座名義																																																																																																			
〃 口 座 名																																																																																																			
〃 口座番号																																																																																																			
項 目	割 合	金 額	適 用																																																																																																
請 負 代 金 額	%	円	――																																																																																																
前 払 金 受 領 済 額																																																																																																			
部 分 払 金 受 領 済 額																																																																																																			
出 来 形 部 分 の 割 合 、 金 額																																																																																																			
前回までの出来形部分の金額																																																																																																			
今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額																																																																																																			
出来形部分に対する 9/10 の金額																																																																																																			
今回出来形部分の部分払金額																																																																																																			
今 回 請 求 金 額																																																																																																			
振込先銀行名																																																																																																			
〃 口座名義																																																																																																			
〃 口 座 名																																																																																																			
〃 口座番号																																																																																																			

改正後	改正前																																																																																																																								
(様式 2 3-2) 請求書（第 回部分払金・国庫債務負担行為用） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 【登録番号】 ¥ 年 月 日契約締結した 工事の 年度 出来形部分に係る請負代金の第 回部分払金額（下記内訳のとおり）を工事 請負契約書第 4 2 条第 1 項の規定に基づき上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="4">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>割 合</th><th>金 額</th><th>適 用</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>%</td><td>円</td><td>10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)</td></tr><tr><td>年度出来形予定金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>年 度 支 払 年 割 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>前 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>部 分 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>年度出来形予定部分に対する 今回の出来形部分の割合、金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>前回までの出来形部分の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>出来形部分に対する 9/10 の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今回出来形部分の部分払金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table><table><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></table>	内 訳				項 目	割 合	金 額	適 用	請 負 代 金 額	%	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)	年度出来形予定金額				年 度 支 払 年 割 額				前 払 金 受 領 済 額				部 分 払 金 受 領 済 額				年度出来形予定部分に対する 今回の出来形部分の割合、金額				前回までの出来形部分の金額				今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額				出来形部分に対する 9/10 の金額				今回出来形部分の部分払金額				今 回 請 求 金 額				振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号		(様式 2 3-2) 請求書（第 回部分払金・国庫債務負担行為用） 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住 所 会社名等 氏 名 [新設] ¥ 年 月 日契約締結した 工事の 年度 出来形部分に係る請負代金の第 回部分払金額（下記内訳のとおり）を工事 請負契約書第 4 2 条第 1 項の規定に基づき上記のとおり請求します。 <table><thead><tr><th colspan="4">内 訳</th></tr><tr><th>項 目</th><th>割 合</th><th>金 額</th><th>適 用</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>%</td><td>円</td><td>—</td></tr><tr><td>年度出来形予定金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>年 度 支 払 年 割 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>前 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>部 分 払 金 受 領 済 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>年度出来形予定部分に対する 今回の出来形部分の割合、金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>前回までの出来形部分の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>出来形部分に対する 9/10 の金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今回出来形部分の部分払金額</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table><table><tr><td>振込先銀行名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座名義</td><td></td></tr><tr><td>〃 口 座 名</td><td></td></tr><tr><td>〃 口座番号</td><td></td></tr></table>	内 訳				項 目	割 合	金 額	適 用	請 負 代 金 額	%	円	—	年度出来形予定金額				年 度 支 払 年 割 額				前 払 金 受 領 済 額				部 分 払 金 受 領 済 額				年度出来形予定部分に対する 今回の出来形部分の割合、金額				前回までの出来形部分の金額				今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額				出来形部分に対する 9/10 の金額				今回出来形部分の部分払金額				今 回 請 求 金 額				振込先銀行名		〃 口座名義		〃 口 座 名		〃 口座番号	
内 訳																																																																																																																									
項 目	割 合	金 額	適 用																																																																																																																						
請 負 代 金 額	%	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)																																																																																																																						
年度出来形予定金額																																																																																																																									
年 度 支 払 年 割 額																																																																																																																									
前 払 金 受 領 済 額																																																																																																																									
部 分 払 金 受 領 済 額																																																																																																																									
年度出来形予定部分に対する 今回の出来形部分の割合、金額																																																																																																																									
前回までの出来形部分の金額																																																																																																																									
今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額																																																																																																																									
出来形部分に対する 9/10 の金額																																																																																																																									
今回出来形部分の部分払金額																																																																																																																									
今 回 請 求 金 額																																																																																																																									
振込先銀行名																																																																																																																									
〃 口座名義																																																																																																																									
〃 口 座 名																																																																																																																									
〃 口座番号																																																																																																																									
内 訳																																																																																																																									
項 目	割 合	金 額	適 用																																																																																																																						
請 負 代 金 額	%	円	—																																																																																																																						
年度出来形予定金額																																																																																																																									
年 度 支 払 年 割 額																																																																																																																									
前 払 金 受 領 済 額																																																																																																																									
部 分 払 金 受 領 済 額																																																																																																																									
年度出来形予定部分に対する 今回の出来形部分の割合、金額																																																																																																																									
前回までの出来形部分の金額																																																																																																																									
今 回 の 出 来 形 部 分 の 金 額																																																																																																																									
出来形部分に対する 9/10 の金額																																																																																																																									
今回出来形部分の部分払金額																																																																																																																									
今 回 請 求 金 額																																																																																																																									
振込先銀行名																																																																																																																									
〃 口座名義																																																																																																																									
〃 口 座 名																																																																																																																									
〃 口座番号																																																																																																																									

改正後	改正前
(注) 1. 今回出来形部分払金額の算出は、下記により行い摘要欄に計算式を記入するものとする。 (a) 部分払金の額$\leq$請負代金相当額$\times 9/10$－（前会計年度までの支払金額＋当該会計年度の部分払金額）－〔請負代金相当額－（前年度までの出来高予定額＋出来高超過額）〕$\times \frac{\text{当該会計年度前払金額}}{\text{当該会計年度の出来高予定額}}$ (b) 部分払金の額$\leq$請負代金相当額$\times 9/10$－前会計年度までの支払金額－（請負代金相当額－前年度までの出来高予定額） $\times \frac{\text{（当該会計年度前払金額＋当該会計年度の中間前払金額）}}{\text{当該会計年度の出来高予定額}}$ (c) 部分払金の額$\leq$（前会計年度末における請負代金相当額－前会計年度までの出来高予定額）$\times 9/10$ * (b) は中間前払金を選択した場合、(c) は出来高超過額に対する部分払 <u>2 上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の場合、記載を省略することができる。</u> <u>3</u> 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。 (様式24) ～ (様式38) [略]	(注) 1. 今回出来形部分払金額の算出は、下記により行い摘要欄に計算式を記入するものとする。 (a) 部分払金の額$\leq$請負代金相当額$\times 9/10$－（前会計年度までの支払金額＋当該会計年度の部分払金額）－〔請負代金相当額－（前年度までの出来高予定額＋出来高超過額）〕$\times \frac{\text{当該会計年度前払金額}}{\text{当該会計年度の出来高予定額}}$ (b) 部分払金の額$\leq$請負代金相当額$\times 9/10$－前会計年度までの支払金額－（請負代金相当額－前年度までの出来高予定額） $\times \frac{\text{（当該会計年度前払金額＋当該会計年度の中間前払金額）}}{\text{当該会計年度の出来高予定額}}$ (c) 部分払金の額$\leq$（前会計年度末における請負代金相当額－前会計年度までの出来高予定額）$\times 9/10$ * (b) は中間前払金を選択した場合、(c) は出来高超過額に対する部分払 [新設] <u>2</u> 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項はまつ消して使用すること。 (様式24) ～ (様式38) [略]

改正後	改正前																																				
(様式39) 請求書 (完成払金) 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住所 会社名等 氏 名 【登録番号】 ¥ 年 月 日契約締結した 工事請負代金の 完成払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約書第33条第1項の規定に基づ き上記のとおり請求します。 内 訳 <table><thead><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td>10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)</td></tr><tr><td>前払金受領済額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>中間前払金受領済額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>部分払金受領済額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 振込先銀行名 〃 口座名義 〃 口 座 名 〃 口座番号 (注) 1 上記の「受注者の登録番号」、「消費税の適用税率」及び「内消費税額」については一般会計の場合、記載を省略することができる。 2 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。 (様式40) ～ (様式41) [略]	項 目	金 額	摘 要	請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)	前払金受領済額			中間前払金受領済額			部分払金受領済額			今 回 請 求 金 額			(様式39) 請求書 (完成払金) 年 月 日 (支出官等) (官職氏名) 殿 受注者 住所 会社名等 氏 名 [新設] ¥ 年 月 日契約締結した 工事請負代金の 完成払金額（下記内訳のとおり）を工事請負契約書第33条第1項の規定に基づ き上記のとおり請求します。 内 訳 <table><thead><tr><th>項 目</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr></thead><tbody><tr><td>請 負 代 金 額</td><td>円</td><td>—</td></tr><tr><td>前払金受領済額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>中間前払金受領済額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>部分払金受領済額</td><td></td><td></td></tr><tr><td>今 回 請 求 金 額</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 振込先銀行名 〃 口座名義 〃 口 座 名 〃 口座番号 (注) [新設] 1 該当のある欄のみ記載し、不必要な事項は抹消して使用すること。 (様式40) ～ (様式41) [略]	項 目	金 額	摘 要	請 負 代 金 額	円	—	前払金受領済額			中間前払金受領済額			部分払金受領済額			今 回 請 求 金 額		
項 目	金 額	摘 要																																			
請 負 代 金 額	円	10%対象 ○○○円 (内消費税額○○円)																																			
前払金受領済額																																					
中間前払金受領済額																																					
部分払金受領済額																																					
今 回 請 求 金 額																																					
項 目	金 額	摘 要																																			
請 負 代 金 額	円	—																																			
前払金受領済額																																					
中間前払金受領済額																																					
部分払金受領済額																																					
今 回 請 求 金 額																																					

改 正 後

(様式 4 2)

工事の施工効率向上対策打合せ記録簿

[illegible]

●●農政局○○○○事業所		△△△△建設（株）	
発注者最終確認日		受注者最終確認日	
年	月	日	確認済
会 議 名		☐ 工事円滑化会議 (☐ 施工条件確認 ☐ 工程確認) □その他 ()	
		☐ 設計変更確認会議（第（ ）回契約変更）（○回目）	
		☐ 対策検討会議	
日	時	年 月 日（ ） ○：○○～○：○○	
場	所		
出 席 者 名			
発注者		受注者	
		設計コンサルタント（△△△△設計（株））	
打 合 せ 項 目			
【A】 ☐ 施工条件 （□関係機関との協議状況、□用地処理状況、□地下埋設物の有無、□地質状況、□設計の考え方） ☐ 工事工程 （□発注者工程（クリティカルパス等））			
【B】 ☐ 施工計画 （□受発注者の仮設計画の確認、□技術提案内容の履行計画） ☐ 工事工程 （□受注者が現場実態に即して作成した工事工程の確認） ☐ 工事書類 （□書類リストの確認、□提出方法） ☐ 規定事項の確認 （□施工段階確認・材料検査・不定期の現場確認） ☐ その他 （□再設計の有無、□設計変更の可否、□工事中止の有無、□積算参考資料の確認）			
【C】 ☐ 設計変更内容 （□設計変更対象項目、□対象数量等） ☐ 工事工程 ☐ 技術提案 （□履行確認、□不履行の場合の手続の確認）			
打 合 せ 結 果			

備考

- 1 建設コンサルタントが出席する場合には、適宜確認日を設ける。
- 2 打合せ項目については、以下の【A】、【B】、【C】の区分とする。
【A】 工事円滑化会議（施工条件確認会議）
【B】 工事円滑化会議（工程確認会議）
【C】 設計変更確認会議
ただし、打合せ項目については受発注者間の協議により定めるものとする。
- 3 打合せ結果は、箇条書き等工夫して要点を簡潔に記入する。

改正前

(様式 4 2)

工事の施工効率向上対策打合せ記録簿

[illegible]

●●●農政局○○○○事業所				△△△△建設（株）			
発注者最終確認日				受注者最終確認日			
年		月		日		確認済	
会 議 名		☐ 工事円滑化会議（○回目）（ ☐ 工事着手時 ☐ 新工種発生時 ☐ その他（ ）） ☐ 設計変更確認会議（第（ ）回契約変更）（○回目） ☐ 対策検討会議					
日 時		年 月 日（ ） ○：○○～○：○○					
場 所							
出 席 者 名							
発注者				受注者			
				設計コンサルタント（△△△△設計（株））			
打 合 せ 項 目		【A】 ☐ 現場条件（ ☐ 関係機関との協議状況、 ☐ 用地処理状況、 ☐ 地下埋設物の有無、 ☐ 地質状況、 ☐ 設計の考え方） ☐ 施工計画（ ☐ 受発注者の仮設計画の確認、 ☐ 技術提案内容の履行計画） ☐ 工事工程（ ☐ 発注者工程（クリティカルパス等）との比較検討） ☐ 工事書類（ ☐ 書類リストの確認、 ☐ 提出方法） ☐ 規定事項の確認（ ☐ 施工段階確認・材料検査・不定期の現場確認） ☐ その他（ ☐ 再設計の有無、 ☐ 設計変更の可否、 ☐ 工事中止の有無、 ☐ 積算参考資料の確認）					
【A】							
☐ 設計変更内容（ ☐ 設計変更対象項目、 ☐ 対象数量等）							
☐ 工事工程							
☐ 技術提案（ ☐ 履行確認、 ☐ 不履行の場合の手続の確認）							
打 合 せ 結 果							

備考 建設コンサルタントが出席する場合には、適宜確認日を設ける。
打合せ項目は、工事円滑化会議の場合は【A】、設計変更確認会議の場合は【B】を記入する。
打合せ結果は、箇条書き等工夫して要点を簡潔に記入する。

改正後										改正前									
参考 土木工事共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表										参考 土木工事共通仕様書における「指示・承諾・協議・提出・報告」の一覧表									
指示		承諾		協議		提出		報告		指示		承諾		協議		提出		報告	
章-節- 条	内容	章-節- 条	内容	章-節- 条	内容	章-節- 条	内容	章-節-条	内容	章-節- 条	内容	章-節- 条	内容	章-節- 条	内容	章-節- 条	内容	章-節-条	内容
第1編 共通編 総則										第1編 共通編 総則									
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	1-1-23	・特定建設資材の分別解体等及び再資源化	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	1-1-23	・特定建設資材の分別解体等及び再資源化
								1-1-25	・管理基準値及び規格値から外れた場合、施工方法の改善策									1-1-25	・管理基準値及び規格値から外れた場合、施工方法の改善策
								1-1-32	・履行報告									1-1-32	・履行報告
								1-1-34	・地下埋設物等を見つけた場合									1-1-34	・地下埋設物等を見つけた場合
								1-1-39	・環境への影響が予知され又は発生した場合									1-1-39	・環境への影響が予知され又は発生した場合
								1-1-40	・文化財を発見した場合									1-1-40	・文化財を発見した場合
								1-1-43	・官公庁との交渉等の内容									1-1-43	・官公庁との交渉等の内容
								1-1-47	・創意工夫等に関する資料									1-1-47	・創意工夫等に関する資料
								1-1-49	・業務の遂行により発明又は考案したとき									1-1-49	・業務の遂行により発明又は考案したとき
								1-1-51	・臨機の措置を講じた場合の内容									1-1-51	・臨機の措置を講じた場合の内容
								1-1-52	・週休二日の実施内容									(新設)	(新設)
材料・施工共通事項 [略]										材料・施工共通事項 [略]									
第2編 工事別編 ほ場整備工事～推進工事 [略]										第2編 工事別編 ほ場整備工事～推進工事 [略]									

改正後	改正前
建設副産物適正処理推進要綱の改正について 各地方農政局長 殿 1 4 地第 2 9 2 号 平成 14 年 6 月 18 日 大臣官房地方課長 建設副産物適正処理推進要綱の改正について 本文 [略] 大臣官房地方課長 殿 1 4 地第 3 7 6 号 平成 14 年 6 月 13 日 大臣官房経理課長 建設副産物適正処理推進要綱の改正について 本文 [略] 農林水産事務次官 殿 平成 14 年 5 月 30 日 国官総第 1 1 2 号 国総事第 2 1 号 国総建第 1 3 7 号 国土交通事務次官 建設副産物適正処理推進要綱の改正について 本文 [略] 建設工事の発注における再生資源の利用の促進について [略] 建設工事公衆災害防止対策要綱の制定等について [略] 土地改良事業における工事の安全対策について [略]	建設副産物適正処理推進要綱の改正について 各地方農政局長 殿 1 4 地第 2 9 2 号 平成 14 年 6 月 18 日 大臣官房地方課長 建設副産物適正処理推進要綱の改正について 本文 [略] 大臣官房地方課長 殿 1 4 地第 3 7 6 号 平成 14 年 6 月 13 日 大臣官房経理課長 建設副産物的適正処理推進要綱の改正について 本文 [略] 農林水産事務次官 殿 平成 14 年 5 月 30 日 国官総第 1 1 2 号 国総事第 2 1 号 国総建第 1 3 7 号 国土交通事務次官 建設副産物適正処理推進要綱の改正について 本文 [略] 建設工事の発注における再生資源の利用の促進について [略] 建設工事公衆災害防止対策要綱の制定等について [略] 土地改良事業における工事の安全対策について [略]